

# 衣類の「取扱い絵表示」が、新しい表示に変わりました。(2016年12月1日から)

取扱説明書をお読みになる際は、下記の対応表を参考にしてください。

新しい「取扱い絵表示」は、「5つの基本記号」と「付加記号」の組み合わせで表示されます。

(5つの基本記号)

洗濯	漂白	乾燥	アイロン	クリーニング

(付加記号)

強さ	線なし 通常	—	==	
		弱い	非常に弱い	
温度	●	●●	●●●	
	低い	←	→	高い





+

## 新規格と従来規格の対応表 (表示記号の意味が一番近いものを対比しております)

新規格 (JIS L 0001 : 2014)	
1.洗濯の仕方の記号	
	液温は50℃を限度とし、洗濯機で通常の洗濯ができる
	液温は50℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯ができる
	液温は40℃を限度とし、洗濯機で通常の洗濯ができる
	液温は40℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯ができる
	液温は40℃を限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯ができる
	液温は30℃を限度とし、洗濯機で通常の洗濯ができる
	液温は30℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯ができる
	液温は30℃を限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯ができる
	液温は40℃を限度とし、手洗いができる
	家庭での洗濯禁止
2.漂白の仕方の記号	
	塩素系および酸素系の漂白剤を使用して漂白ができる
	該当なし
	酸素系漂白剤の使用はできるが、塩素系漂白剤は使用禁止
	塩素系および酸素系漂白剤の使用禁止
3.絞り方の記号	
	「自然乾燥の記号」に併合
4.乾燥の仕方の記号 タンブル乾燥(※2)	
	タンブル乾燥ができる (排気温度上限80℃)
	低い温度でのタンブル乾燥ができる (排気温度上限60℃)
	タンブル乾燥禁止

従来規格 (JIS L 0217 : 1995)	
1.洗い方(水洗い)の記号	
	該当なし
	液温は40℃を限度とし、洗濯機による洗濯ができる
	液温は40℃を限度とし、洗濯機の弱水流または弱い手洗い(※1)がよい
	該当なし
	液温は30℃を限度とし、洗濯機の弱水流または弱い手洗い(※1)がよい
	液温は30℃を限度とし、弱い手洗い(※1)がよい(洗濯機は使用できない)
	水洗いはできない
2.塩素漂白の可否の記号	
	該当なし
	塩素系漂白剤による漂白ができる
	塩素系漂白剤による漂白はできない
	該当なし
3.絞り方の記号	
	手絞りの場合は弱く、遠心脱水の場合は短時間で絞るのがよい
	絞ってはいけない
4.干し方の記号 タンブル乾燥	
	該当なし

新規格と従来規格の対応表（表示記号の意味が一番近いものを対比しております）

新規格（JIS L 0001：2014）		従来規格（JIS L 0217：1995）	
自然乾燥(※3)		干し方	
	つり干しがよい		つり干しがよい
	ぬれつり干しがよい	該当なし	
	平干しがよい		平干しがよい
	ぬれ平干しがよい	該当なし	
	日陰のつり干しがよい		日陰のつり干しがよい
	日陰のぬれつり干しがよい	該当なし	
	日陰の平干しがよい		日陰の平干しがよい
	日陰のぬれ平干しがよい	該当なし	
5.アイロンの掛け方の記号		5.アイロンの掛け方の記号	
	底面温度200℃を限度として、アイロン仕上げができる		アイロンは210℃を限度とし、高い温度(180℃～210℃まで)で掛けるのがよい
	底面温度150℃を限度として、アイロン仕上げができる		アイロンは160℃を限度とし、中程度の温度(140℃～160℃まで)で掛けるのがよい
	底面温度110℃を限度として、スチームなしでアイロン仕上げができる		アイロンは120℃を限度とし、低い温度(80℃～120℃まで)で掛けるのがよい
	アイロン仕上げ禁止		アイロン掛けはできない
6.クリーニングの種類の記号 ドライクリーニング		6.ドライクリーニングの記号 ドライクリーニング	
	パークロロエチレンおよび石油系溶剤によるドライクリーニングができる		ドライクリーニングができる溶剤は、パークロロエチレンまたは石油系のものを使用する
	パークロロエチレンおよび石油系溶剤による弱いドライクリーニングができる	該当なし	
	石油系溶剤によるドライクリーニングができる		ドライクリーニングができる溶剤は、石油系のものを使用する
	石油系溶剤による弱いドライクリーニングができる	該当なし	
	ドライクリーニング禁止		ドライクリーニングはできない
ウェットクリーニング(※4)		ウェットクリーニング	
	ウェットクリーニングができる	該当なし	
	弱い操作によるウェットクリーニングができる		
	非常に弱い操作によるウェットクリーニングができる		
	ウェットクリーニング禁止		

(※1)弱い手洗いには、振り洗い、押し洗いおよびつかみ洗いがあります。

(※2)タンブル乾燥とは、ドラム式洗濯乾燥機や衣類乾燥機の中で衣類を回転させながら温風で乾かす方式のことです。

(※3)ぬれ干しとは、洗濯機による脱水をしないで、あるいは手でねじり絞りをしないで干すことです。

(※4)ウェットクリーニングとは、クリーニング店が本来水で洗えない衣類を特殊な技術で水洗いする洗濯方法です。

当社洗濯機では、50℃以上のお湯をご使用いただかないようご案内しており、60℃、70℃、95℃の表示記号を省略しております。